

ふくい女性ネット REPORT

ふくい女性ネットとは…

県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。

<http://pref.fukui.lg.jp/doc/danken/f-net.html>

女性リーダー育成プログラム「未来きりりプログラム」で、この1年間、様々なスキル学んできました。その集大成として、共に学んできた仲間たちと班ごとにひとつのプレゼンテーションを作り上げます。今回は、仮想プロジェクト「プレゼンテーション発表会」に向けての実践講座と、発表会当日の様をお届けします。



仮想プロジェクト④ プレゼンテーション実践



講師からのアドバイスを真剣に聞くメンバー

「仮想プロジェクト」は、5～6人のグループで提示された課題の解決方法を企画立案し、プレゼンテーションまでを実践するという5回シリーズの講義です。9月から6班に分かれて、課題に取り組んできました。

今年度の課題「越前和紙を使ったビジネスプラン」

「越前女紙倶楽部」の皆さんをはじめとする、今立の製紙会社のみなさんが伝統を守り、誇りを持って作り上げている越前和紙。

製紙工場見学(9月)で現場を知り、現在の社会の動きを考えるマーケティング(11月)、プレゼンテーション技術(12月)を学んで、新たなビジネスプランの提案を作り上げました。

平成26年1月28日(火)、講師に 一般社団法人日本経営者協会 志摩 宏彦氏 をお招きし、仮想プロジェクト「プレゼンテーション発表会」に向けての実践講座が行われました。2月の発表会に向けての実践練習ということで、本番と同じ、生活学習館の多目的ホールで、緊張感が漂う中、プレゼンテーションを行いました。

未来きりりプログラムで、1年間、学び取り組んできたスキルが活かされ、各班ともかなりレベルの高い発表となりました。メンバーは他の班の発表を聴き、提案内容の具体性や論理性、プレゼンターの話し方や態度について採点を行いました。各班のテーマと採点結果は下記のとおりです。

講師から、ターゲットを明確にすることや、現状分析と提案の時間配分などを具体的にご教示頂きました。発表後に早速、企画提案の見直しに取り掛かり、各班の本番に向けての意気込みを感じました。

【各班のテーマ】

- 1班 megami～和紙でつぐむストーリー
- 2班 越前和紙 DE お・も・て・な・し
- 3班 越前和紙ビジネス～日本の誇れる文化を越前から世界へ～
- 4班 越前和紙とWASHI ECHIZEN
- 5班 越前和紙を新しい販路へ
- 6班 BIREJO倶楽部～肌と心と生活を潤す商品ストーリー～

【メンバーからの採点で、評価が高かった班のランキング】

1位:5班 2位:3班 3位:4班、6班



本番さながらの実践講座の様子

メンバー同士の評価や講師の講評から、提案内容に新たな課題を発見しました。本番の発表会までに、各班で最終調整をして、私たち「ふくい女性ネット」から、福井県の伝統ある越前和紙の活性化のヒントが提案できるよう、これまでに学んだスキルを駆使して取り組んでいきます。またチームの協働力、そしてコミュニケーション能力の大切さを改めて認識いたしました。

(担当:高村)



仮想プロジェクト⑤ プレゼンテーション発表会



熱のこもる第6班の発表の様子

平成26年2月28日(金)、生活学習館多目的ホールにて「プレゼンテーション発表会」が開催されました。

審査員には、(株)電通の林信貴氏、越前女紙倶楽部の石川靖代事務局長と越前和紙関係者の方々をはじめ、女性ネット参加企業の担当者やふくい女性ネット NEXT のメンバーも加わり、緊張の中、発表に臨みました。

各班が、前回の講義でアドバイスを受けた部分を見直し、ますますグレードアップした内容になっていました。

2人で漉いた和紙をライフスタイルに合わせて使用する事で産地 PR につなげる企画や、高齢化社会に着目したシニア向け和紙化粧品用品の開発、東京五輪を絡めた PR として動画サイトを利用するなど、個性あふれるビジネスプランが披露されました。また、色やアニメーションで工夫したわかりやすい資料はもとより、音楽あり、動画あり、寸劇ありと、各班が工夫を凝らして発表時間の10分間を使いました。

審査員の方々からは、プロならではのコメントや企画の作成過程などの質問を頂きました。私たちメンバーの真剣な取り組みに耳を傾けてくださったことが、今後の大きな励みになります。そして、福井県が誇る伝統工芸品「越前和紙」について、多くを学ぶ機会を頂いたこと、またそれを仲間と共有できたことが、これからの私たちの希望です。

審査員の方々からは、プロならではのコメントや企画の作成過程などの質問を頂きました。私たちメンバーの真剣な取り組みに耳を傾けてくださったことが、今後の大きな励みになります。そして、福井県が誇る伝統工芸品「越前和紙」について、多くを学ぶ機会を頂いたこと、またそれを仲間と共有できたことが、これからの私たちの希望です。

審査結果発表!!

最優秀班 第4班

ホテルを和紙でコーディネートすることや、海外向けロゴマークの作成を提案 (川岸道子リーダー)

一人ひとりが持っている知識や経験、スキルなどがうまく組み合わさって、このメンバーだからこそできたプレゼンになりました。それを本番でも伝えることができたのではないのでしょうか。チーム力ってすごいなと心から思いました。

メンバーとこの貴重な機会を共有できたことに、とても感謝しています。



第2位 第5班

ペット用の和紙棺(ひつぎ)の商品開発を提案 (吉田美恵子リーダー)

何度も手を加え、伝えることの難しさ、大切さを学びました。素晴らしいメンバーとお互いを高め合いながら達成感を味わうことが出来ました。この機会を与えていただいたことに感謝し、ここで学んだことをこれからの活かしていきたいと思えます。



年齢も仕事内容も経験も違う私たちが、チームとして一つの課題に取り組んだ半年間。ビジネススキル研修の内容が大いに活かした発表会だったのではないのでしょうか。成功させるためにさまざまなアイデアを出し合い、それぞれが得意なスキルでチームをカバーし、何度も考え話し合った経験が、このプロジェクトの大いなる財産だと感じます。この経験を、仕事やプライベートのさまざまな場面で活かし、社会に貢献できたらと思います。(担当:佐藤)

一編集後記一 昨年よりもさらに難しいテーマを与えられ、試行錯誤で進めてきた今回のプレゼンテーション発表会。1年かけてたくさんのことを学んだ私たちは、この日、「きらり」と光るものを見つけられたのではないのでしょうか。2年目のメンバーは3月で卒業となりますが、この貴重な経験は必ずこれからの自分を輝かせるでしょう。1年目のメンバーは来年度もさらに輝く活動してほしいと願っています。この活動にご支援ご協力いただいた多くの方々に感謝いたします。ありがとうございました。(伊藤)

ふくい女性ネット(第6期)参加企業:ふくい女性ネットの趣旨にご賛同いただいた企業

学校法人青池学園 若狭医療福祉専門学校
株式会社 GAIA
NPO 法人 男女平等推進協会えちぜん
日本商運株式会社
福井貨物自動車株式会社
福井県
学校法人福井仁愛学園
福井鋸螺株式会社
松文産業株式会社

アポットジャパン(株)勝山事業所
株式会社信越マグネット
永森建設株式会社
ネットヨタ福井株式会社
福井県国民健康保険団体連合会
(公財)福井県文化振興事業団
株式会社福井新聞社
株式会社 PLANT
(33社 50音順)

株式会社エイチアンドエフ
株式会社 SHINDO
日華化学株式会社
株式会社パケットデズ
福井県商工会連合会
福井県民生活協同組合
国立大学法人福井大学
株式会社ブリッジ

越前町
税理士法人 たすき会
新田塚コミュニティ株式会社
株式会社ヒューマン・デザイン
福井赤十字血液センター
福井商工会議所
福井経編興業株式会社
北陸電力株式会社福井支店